

## 道路課

- 新規評価箇所検討一覧表 (BBB 評価以上) …P1
- 新規事業概要
  - 道路事業点 …P2～4
- 公共事業新規評価調書 (整備系) …P5～ 16
- 新規評価箇所検討一覧表 (C 評価) … P17 ~ 20

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	総事業費 (百万円)	公・単	完成 予定 年度	重要施策との関連性 (他事業との関連含む)	新規評価に至った経緯
					市町名	旧市町 名	町・大 字等		位置 づけ	必要 性・ 効果	実 施 環 境						
1	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道208号	佐賀市	-	本庄町	歩道整備 L=30m	A	A	A	I	52	公	H29	通学路	地元要望による
2	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	諸富西島線	佐賀市	諸富町	徳富	歩道整備 L=180m	A	A	A	I	52	公	H30	通学路	地元要望による
3	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	川棚有田線	有田町	-	大野、 桑古場	歩道UD化 L=1200m	A	A	A	I	312	公	H31	通学路	交通安全総点検(H26.2)の指 摘事項の改善
4	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	梅野有田線	武雄市	山内町	今山	自歩道整備 L=1000m	A	A	A	I	520	公	H31	通学路	地元要望による
5	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	古枝肥前浜停車場 線	鹿島市	-	古枝	歩道整備 L=160m	A	A	A	I	224	公	H29	通学路	地元要望による
6	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	加倉仮屋港線	唐津市 ～ 玄海町	-	枝去木 ～ 有浦上	道路改良 L=1675m	A	A	B	I	1,248	公	H36	第二次緊急輸送道路	地元要望による

# 道路事業

交通政策部 道路課

1

## 道路事業とは...

### 事業の目的

- 道路事業は、道路の持つ交通機能と空間機能を果たすため、道路の種別に応じて、計画的に事業を推進している。
- 佐賀県の道づくりの基本方針としては、「安全で安心な道づくり」、「交流を支える道づくり」、「活力ある地域を育む道づくり」の3つの基本方針に基づいて整備を行っている。

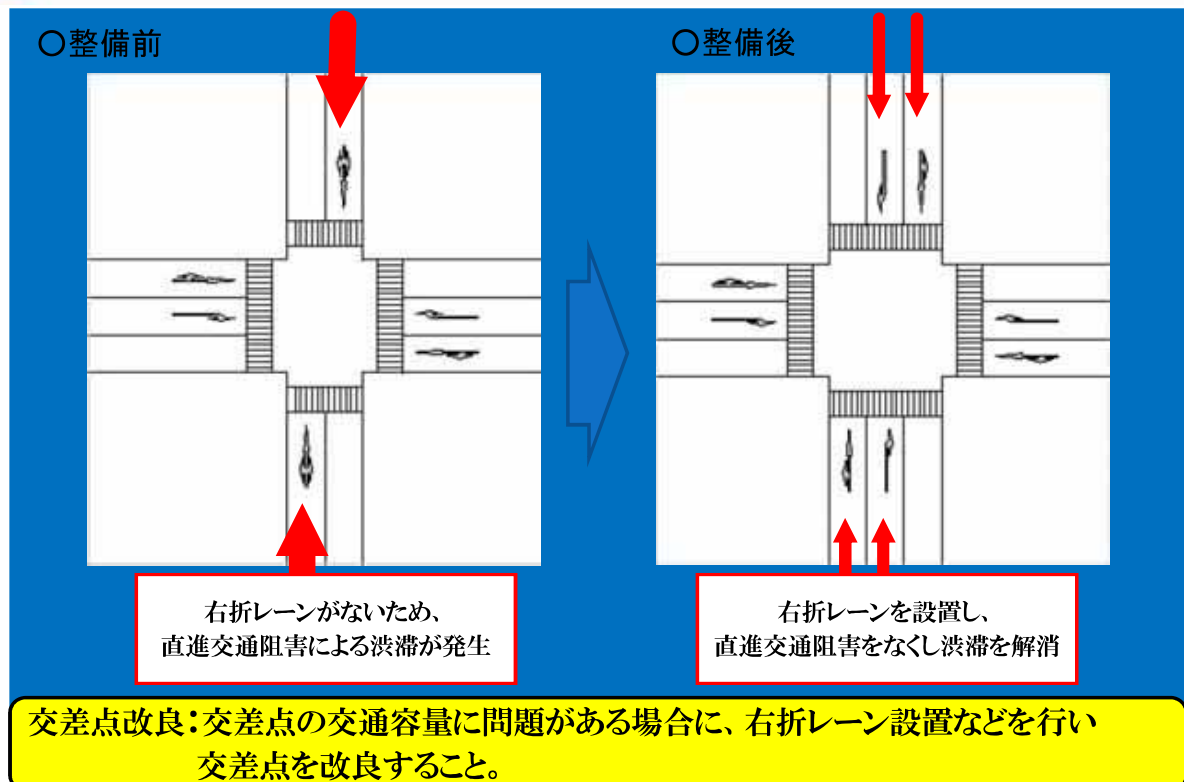
2

## 整備系の道路事業の道路改良(バイパス・現道拡幅)について



3

## 整備系の道路事業の交差点改良について



4

## 整備系の道路事業の歩道整備について

○整備前



・交通量が多いが、歩道が設置されていないため、危険な状況

○整備後



・用地買収を行い歩道を設置

**歩道設置:** 歩行者等が多い道路において、歩行者等の安全かつ円滑、快適な通行の確保のため、自動車交通とは分離した歩行空間を新たに確保すること。また、交通状況の変化により、現在の利用形態に合わない狭い歩道の幅員を拡幅すること。

## 公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	交通政策部	確認者	道路課	課長	永石 誠
		作成者	佐賀土木事務所	所長	吉田 恭一

事業 区分	整備系  (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費  (下段工事費)	52百万円  (50百万円)
		交通安全事業	一般国道 208号 [袋工区]		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
佐賀市	本庄町	袋地内	平成27年度	平成29年度

事業目的	事業計画内容
<p>一般国道208号は、熊本市を起点とし大牟田市を經過して、佐賀市へ至る幹線道路である。本区間は隣接する本庄小学校の通学路に指定しており、また、佐賀市南部地区から市の中心部へ通学する高校生の自転車交通も多いが、歩道部の隅切りが狭く、非常に危険な状態である。</p> <p>このため、交差点歩道部に隅切りを設け、歩行者溜まり空間を確保し、歩行者自転車の交通安全及び交通の円滑化を図るものである。</p>	<p>事業区間延長 L = 30 m</p> <p>道路規格 第4種第1級</p> <p>道路幅員 W = 13.00 (20.00) m</p> <p>歩道幅員 W = 2.50 m (両側)</p> <p>路肩幅員 W = 1.00 m</p>

評価の視点	評価内容	評価	
(1) 位置づけ	<p>県土づくり本部戦略 くらしに身近な道路の整備 点検計画： 通学路 本庄小学校通学路 緊急輸送道路又は観光ルート： 緊急輸送道路 第一次緊急輸送道路 プロジェクト等： 主要プロジェクト関連又は佐賀空港アクセス道路 佐賀市中心部から佐賀空港アクセス道路</p>	<p>10 点</p> <p>50 点</p> <p>20 点</p> <p>20 点</p>	<p>A</p> <p>(100 点)</p>
(2) 必要性・効果	<p>交通量：(自転車歩行者交通量) 1,945人台/日〔100人台/日以上～〕</p> <p>交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 28件〔10件以上～〕</p> <p>歩道の状況： 1.0～2.0m未満</p> <p>歩道隅切り改良</p>	<p>60 点</p> <p>20 点</p> <p>10 点</p>	<p>A</p> <p>(90 点)</p>
(3) 実施環境	<p>地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている</p> <p>地権者からの同意書有り</p> <p>集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 小学校 小学校 バス路線 施設名〔本庄小学校〕〔赤松小学校〕</p>	<p>50 点</p> <p>40 点</p>	<p>A</p> <p>(90 点)</p>

評価	A A A	条件等
判断	優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効活用 コンクリート二次製品の有効活用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### 特記事項

内 容

特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	交通政策部	確認者	道路課	課長	永石 誠	
		作成者	佐賀土木事務所	所長	吉田 恭一	
事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	52百万円 (50百万円)	
		交通安全事業	主要地方道 諸富西島線 【徳富工区】			
事業地			着工予定年度	完成予定年度		
佐賀市 諸富町 徳富 地内			平成27年度	平成30年度		
事業目的			事業計画内容			
<p>主要地方道諸富西島線は佐賀市諸富町とみやき町西島を結ぶ道路である。本区間は佐賀市の南東部に位置し、佐賀市と福岡県南西部を結び、また、佐賀空港へのアクセス道路であり自動車交通量が多い路線である。また、隣接する諸富北小学校の通学路となっているが、北側の歩道が狭く、非常に危険な状態となっている。</p> <p>このため、北側の歩道を整備することにより、自動車交通の円滑化と自転車歩行者の安全を図るものである。</p>			<p>事業区間延長 L = 180 m  道路規格 第3種第2級  道路幅員 W = 6.50 (15.00) m  歩道幅員 W = 3.50 m (両側)  路肩幅員 W = 0.75 m</p>			
評価の視点	評価内容				評価	
(1) 位置づけ	<p>県土づくり本部戦略  くらしに身近な道路の整備  点検計画:  通学路 50点  諸富北小学校通学路  緊急輸送道路又は観光ルート:  観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 20点  福岡県南西部と佐賀空港を結ぶ道路  プロジェクト等:  主要プロジェクト関連又は佐賀空港アクセス道路 20点  福岡県南西部から佐賀空港へのアクセス道路</p>				10点	A (100点)
(2) 必要性・効果	<p>交通量:(自転車歩行者交通量)  173人台/日〔100人台/日以上~〕 60点  交通事故:(近年(3ヶ年)の事故件数)  2件〔~3件以下〕 5点  歩道の状況:  ~1.0m未満 15点  歩道1.0m 自歩道3.5m</p>					
(3) 実施環境	<p>地元状況:(沿線住民の合意)  計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50点  地権者からの同意書有り  集落施設、沿道土地利用:  下記の沿道施設が3以上存在する 40点  小学校 小学校 バス路線  施設名〔諸富北小学校〕〔大津公民館〕</p>					A (90点)
評価	A A A	条件等				
判断	優先的に事業を実施					



## 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効活用 コンクリート二次製品の有効活用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## 特記事項

内 容

特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	交通政策部	確認者	道路課	課長	永石 誠
		作成者	伊万里土木事務所	所長	竹本 泰道

事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	312百万円 (300百万円)
		交通安全事業	主要地方道 川棚有田線 【大野・桑古場工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
西松浦 郡	有田 町	大野～桑木場 地内	平成 27 年度	平成 31 年度

事業目的	事業計画内容
<p>当該路線は、一般国道35号から西九州自動車道の波佐見ICへのアクセス道路である。当該区間は、有田中部小学校の通学路に指定あり、また、有田陶器市時には、臨時駐車場とを結び不特定多数の歩行者が利用する道路となっている。しかしながら、歩道がマウンドアップ形状となっていることから、町道への取付けが急勾配になっており、また、インターロッキングブロックの摩耗が著しく雨天時には滑りやすく、車いすなど歩道利用者へ支障をきたしている。</p> <p>このため、歩道をセミフラット化することにより、道路と段差解消を図り、歩道利用者の安全性を確保するものである。</p>	<p>事業区間延長 L = 1,200 m</p> <p>道路規格 第 4 種 第 2 級</p> <p>道路幅員 W = 6.00 (16.00) m</p> <p>歩道幅員 W = 3.50 m (両側)</p> <p>路肩幅員 W = 1.50 m</p>

評価の視点	評価内容	評価	
(1) 位置づけ	<p>県土づくり本部戦略 くらしに身近な道路の整備 点検計画: 通学路 有田中部小学校 緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 焼き物産地である有田町と西九州自動車道を結ぶ道 プロジェクト等:</p>	<p>10 点</p> <p>50 点</p> <p>20 点</p> <p>0 点</p>	A (80 点)
(2) 必要性・効果	<p>交通量 : (自転車歩行者交通量) 150人台/日 [ 100人台/日以上 ~ ]</p> <p>交通事故 : (近年(3ヶ年)の事故件数) 9件 [ 7~9件以下 ]</p> <p>歩道の状況 : 歩道無し、段差勾配要改善</p> <p>歩道のセミフラット化</p>	<p>60 点</p> <p>15 点</p> <p>20 点</p>	A (95 点)
(3) 実施環境	<p>地元状況 : (沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている</p> <p>関係区長への説明において事業実施に同意</p> <p>集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する 小学校 中学校 高校 施設名 [有田中部小学校] [有田中学校] [有田工業高校]</p>	<p>50 点</p> <p>40 点</p>	A (90 点)

評価	A A A	条件等
判断	優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、現道敷を利用した法線とする

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効活用 コンクリート二次製品の有効活用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## 特記事項

内 容
交通安全総点検(平成26年2月)の指摘事項の改善を行う

特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	交通政策部	確認者	道路課	課長	永石 誠
		作成者	杵藤土木事務所	所長	田久保 松美

事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等 一般県道 梅野有田線 【今山工区】	総事業費	520百万円
		交通安全事業		(下段工事費)	(500百万円)

事業地			着工予定年度	完成予定年度
武雄市	山内町	大野	平成27年度	平成31年度

事業目的	事業計画内容
<p>本路線は、有田町・伊万里市・武雄市の焼き物産地を結ぶ地域の物流路線であり、周辺市町への通勤道路としての自動車交通量も多い道路である。当該区間は小学校の通学路となっているものの、歩道が無く、狭い路肩を通行しており、朝夕の通学時間帯などは非常に危険な状況である。</p> <p>このため、自転車歩行者道を整備することにより、児童・生徒をはじめとする歩行者・自転車利用者の安心・安全な走行空間の確保を図るものである。</p>	<p>事業区間延長 L = 1,000 m</p> <p>道路規格 第3種第3級</p> <p>道路幅員 W = 6.00 (11.00) m</p> <p>歩道幅員 W = 3.50 m (片側)</p> <p>路肩幅員 歩道側 W = 0.50 m</p> <p>" 路肩側 W = 1.00 m</p>

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<p>県土づくり本部戦略 くらしに身近な道路の整備</p> <p>点検計画: 通学路 山内西小学校</p> <p>緊急輸送道路又は観光ルート: 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 焼き物産地である有田町と国道498号を結ぶ道路</p> <p>プロジェクト等:</p>	<p>10点</p> <p>50点</p> <p>20点</p> <p>0点</p> <p>A (80点)</p>
(2) 必要性・効果	<p>交通量:(自転車歩行者交通量) 123人台/日〔100人台/日以上~</p> <p>交通事故:(近年(3ヶ年)の事故件数) 5件〔4~6件以下</p> <p>歩道の状況: 歩道無し、段差勾配要改善</p> <p>歩道無し 自歩道3.5m</p>	<p>60点</p> <p>10点</p> <p>20点</p> <p>A (90点)</p>
(3) 実施環境	<p>地元状況:(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている</p> <p>地元自治会から要望書有り</p> <p>集落施設、沿道土地利用: 下記の沿道施設が3以上存在する</p> <p>病院 福祉施設 集会場 施設名 [大野病院] [ことぶき荘] [白の川内集落センター]</p>	<p>50点</p> <p>40点</p> <p>A (90点)</p>

評価	A A A	条件等
判断	優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## 特記事項

内 容

特に記述することがあれば記載

公共事業新規評価調書（整備系）

本部名 部名	県土づくり本部	確認者	道路課	課長	永石 誠
		作成者	杵藤土木事務所	所長	田久保 松美

事業 区分	整備系  (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費  (下段工事費)	224百万円  (215百万円)
		交通安全事業	一般県道 古枝肥前浜停車場線 【大村方工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
鹿島市	古枝	地内	平成27年度	平成29年度

事業目的		事業計画内容	
<p>本路線は、JR肥前浜駅と祐徳稲荷神社を結ぶ重要な路線である。当該区間は古枝小学校の通学路に指定されているものの、東側には歩道が無いため、児童は隣接する大村方工業団地団地内企業への通勤車輛や運搬用車輛多い中、狭い路肩の通学を余儀なくされおり、非常に危険な状況となっている。</p> <p>このようなことから、東側の歩道を整備し、歩行者の安全と自動車交通の円滑化を確保するものである。</p>		<p>事業区間延長 L = 160 m                  道路規格 第3種第3級                  道路幅員 W = 6.00 (12.50) m                  歩道幅員 W = 2.50 m (両側)                  路肩幅員 W = 0.75 m</p>	

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	県土づくり本部戦略 ぐらしに身近な道路の整備 点検計画： 通学路 古枝小学校 緊急輸送道路又は観光ルート： 観光地と主要幹線道路を結ぶ道路 国道207号と祐徳稲荷神社を結ぶ道路 プロジェクト等：	10点 50点 20点 0点 A (80点)
(2) 必要性・効果	交通量：(自転車歩行者交通量) 110人台/日〔100人台/日以上～〕 交通事故：(近年(3ヶ年)の事故件数) 1件〔～3件以下〕 歩道の状況： 歩道無し、段差勾配要改善 東側歩道無し 歩道2.5m	60点 5点 20点 A (85点)
(3) 実施環境	地元状況：(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 地権者からの同意有り 集落施設、沿道土地利用： 下記の沿道施設が3以上存在する 小学校 バス路線 駅・公園等 施設名〔古枝小学校〕〔祐徳バス〕〔肥前浜駅〕	50点 40点 A (90点)

評価	A A A	条件等
判断	優先的に事業を実施	

## 定性評価調書

### 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

### 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

### コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

### 特記事項

内 容

特に記述することがあれば記載

## 公共事業新規評価調書(整備系)

本部名 部名	交通政策部	確認者	道路課	課長	永石 誠
		作成者	唐津土木事務所	所長	山下 孝一

事業 区分	整備系 (生活関連事業)	事業名	地区名等	総事業費 (下段工事費)	1,248百万円 (1,200百万円)
		改築事業(1次)	一般県道 加倉仮屋港線 【枝去木・有浦上工区】		

事業地			着工予定年度	完成予定年度
唐津市	枝去木～	東松浦郡 玄海町 有浦上 地内	平成 27 年度	平成 36 年度

事業目的	事業計画内容
<p>本路線は、唐津市鎮西町加倉を起点とし、玄海町新田を終点とする一般県道で、唐津市街地と玄海町市街地を結ぶ主要な道路になっており、第二次緊急輸送道路にも指定されている。</p> <p>計画区間は道路幅員が狭く、急カーブも多く、大型車同士の離合が困難な区間もあり、また歩行者や自転車の通行に非常に危険を伴う状況にある。</p> <p>このため交通の円滑化、及び歩行者・自転車等の交通の安全性向上を目的として、当該区間の道路改良を実施する。</p>	<p>事業区間延長 L = 1,675 m</p> <p>道路規格 第 3 種 第 3 級</p> <p>道路幅員 W = 6.00 (10.00) m</p> <p>歩道幅員 W = 2.50 m (片側)</p> <p>路肩幅員 歩道側 W = 0.75 m</p> <p>路肩幅員 " 路肩側 W = 0.75 m</p>

評価の視点	評価内容	評価
(1) 位置づけ	<p>県土づくり本部戦略 くらしに身近な道路の整備 10 点</p> <p>中長期道路整備計画 中長期道路整備計画で位置づけされた道路 【基本方針3】活力のある地域を育む道づくり 50 点</p> <p>緊急輸送道路又は観光ルート: 緊急輸送道路 20 点</p> <p>第二次緊急輸送道路 プロジェクト等: 0 点</p>	A (80 点)
(2) 必要性・効果	<p>交通量:(自動車交通量) 5,439台/日〔4,000～10,000台/日未満〕 40 点</p> <p>中山間地域補正:(異常気象時等加点) 0 点</p> <p>交通量: 60点上限適用無 40 点</p> <p>交通事故:(事故指標) 77件/億台キロ〔50件/億台キロ～〕 20 点</p> <p>構造上の課題: 道路構造令、道路橋示方書等の基準から大きく逸脱しており、危険である 20 点</p> <p>曲線半径など道路構造令より逸脱しており、事故も発生している</p>	A (80 点)
(3) 実施環境	<p>地元状況:(沿線住民の合意) 計画に対して協力的で、概ね地元の同意が得られている 50 点</p> <p>枝去木、有浦上両地区から要望書が提出されている</p> <p>既成会、協議会の状況: 既成会等の組織はないが、計画に対して協力的である 10 点</p> <p>期成会等はないが、要望書が提出されており協力的である</p>	B (60 点)

評価	A A B	条件等
判断	優先的に事業を実施	



## 定性評価調書

## 自然環境保全

内 容
自然環境保全に配慮し、道路線形は極力現道を利用した法線とする。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載

## 生活環境対策

内 容
大気汚染について、配慮している事項(排ガス対策型機械の使用) リサイクルに配慮している事項(建設副産物の適正処理、再生材の使用)

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載

## コスト縮減策

内 容
現場発生材やクラッシャーラン等再生材の有効利用 コンクリート二次製品の有効利用による工期の縮減

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載

## 特記事項

内 容
玄海町の防災計画において避難経路として位置づけられており、また佐賀県の第二次緊急輸送道路にも指

特に記述することがれば記載

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
1	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道263号	佐賀市	大和町	梅野	道路改良 L=300m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
2	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	富士三瀬線	佐賀市	富士町	関屋	道路改良 L=850m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
3	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	広滝大和富士線	佐賀市	大和町	名尾	線形改良 L=1,200m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
4	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	川上牛津線 (本町交差点)	小城市	牛津町	柿樋瀬	交差点改良、歩道整備 工 L=400m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
5	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	牛津停車場線 (牛津駅前)	小城市	牛津町	柿樋瀬	歩道整備 L=150m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
6	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	多久若木線 (東の原)	多久市	-	多久町 下鶴～西畑	現道拡幅、歩道整備 L=950m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
7	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	佐賀外環状線	佐賀市	大和町	尼寺	交差点改良 L=230m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
8	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道444号	佐賀市	川副町	鹿江	歩道整備 L=180m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
9	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	大詫間光法停車場線	佐賀市	諸富町	山領	現道拡幅、歩道整備 L=500m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
10	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	別府牛津停車場線	多久市	-	東多久町 別府	歩道整備 L=850m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
11	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	佐賀川久保鳥栖線 (大曲)	吉野ヶ里町	-	大曲	自歩道整備 L=400m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
12	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	三瀬神埼線 (飯町)	神埼市	神埼町	的	道路改良 L=660m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
13	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道264号	みやき町	三根町	西島	歩道整備 L=540m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
14	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	坊所城島線	上峰町	-	坊所	歩道整備 L=420m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
15	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	佐賀川久保鳥栖線	鳥栖市	-	平田町・ 立石町	道路改良 L=1000m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
16	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	中原鳥栖線	鳥栖市	-	儀徳町・江島町	道路改良 L=1600m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
17	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	鳥栖田代線	鳥栖市	-	桜町	歩道整備 L=150m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
18	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	諸富西島線	みやき町	三根町	天建寺	道路改良 L=1600m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
19	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	唐津市	-	屋形石	道路改良 L=300m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
20	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	唐津市	肥前町	田野	道路改良 L=670m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
21	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	七山巖木線	唐津市	巖木町	平之	道路改良 L=670m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
22	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	山崎町切線	唐津市	相知町	横枕～湯屋	道路改良 L=465m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
23	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	高串港線	唐津市	肥前町	田野	道路改良 L=640m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
24	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	黒川松島線	伊万里市	-	奥野、大黒川	道路改良 L=1600m	-	C	-	Ⅲ	現在交通量が少なく費用対効果が見込めないため
25	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道204号	伊万里市	-	黒川町小黒川	自歩道整備 L=300m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
26	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号	伊万里市	-	波多津町辻、畑津、井野屋	道路改良 L=1400m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
27	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	山本波多津線	伊万里市	-	波多津町津留、主屋	道路改良 L=1,800m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
28	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里畑川内巖木線	伊万里市	-	波多津町内野	道路改良 L=750m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
29	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里有田線	伊万里市	-	二里町	道路改良 L=4000m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
30	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	曲川心野線	有田町	西有田町	曲川(北ノ川内)	歩道整備 L=340m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
31	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	八幡岳公園線	伊万里市	-	大川町 東田代	退避所設置 L=2220m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
32	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里松浦線	伊万里市	-	山代町 大久保	退避所設置 L=4000m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
33	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	大木有田線	有田町	-	黒牟田	歩道整備 L=200m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
34	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道204号 (上楠区)	伊万里市	-	山代町 楠久	歩道整備 L=450m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
35	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	塩屋大曲線	伊万里市	-	黒川町 大黒川	道路改良 L=400m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
36	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号 (楠久津)	伊万里市	-	山代町 楠久津	道路改良 L=720m	-	-	C	Ⅲ	河川管理者との調整が未了のため
37	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	伊万里松浦線 (楠久津)	伊万里市	-	山代町 楠久津	道路改良 L=420m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
38	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道204号 (鳴石)	伊万里市	-	山代町 鳴石	歩道整備 L=450m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
39	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道207号	白石町	福富町	福富下分	歩道整備 L=400m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
40	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	武雄福富線	白石町	白石町	馬洗	交差点改良	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
41	道路	広域	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道4988号	武雄市	北方町	大崎	道路改良 L=3000m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
42	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	相知山内線	武雄市	武内町	真手野	道路改良 L=1800m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
43	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	相知山内線	武雄市	山内町	三間坂	道路改良 L=200m	-	-	C	Ⅲ	関係機関との協議が不十分であるため
44	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	国道207号 (西葉)	鹿島市	-	音成	道路改良 L=900m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
45	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道207号 (重ノ木)	鹿島市	-	重ノ木	歩道整備 L=100m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため (道路網再編)

番号	種別	事業区分	事業名	箇所名等 (路河川・地区名)	施工箇所			事業概要	評価			判断	2次評価に至らなかった理由
					市町名	旧市町名	町・大字等		位置づけ	必要性・効果	実施環境		
46	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	大木庭武雄線 (浅浦)	鹿島市	-	三河内	歩道整備 L=600m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
47	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道207号 (糸岐)	太良町	-	糸岐橋～ 陣ノ内地 内	歩道整備 L=600m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
48	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	山浦肥前鹿島停車場 線(横田)	鹿島市	-	高津原	歩道整備 L=320m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため (道路網再編)
49	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	国道498号 (久間)	嬉野市	塩田町	久間	歩道整備 L=1100m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
50	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	大村嬉野線 (清水)	嬉野市	嬉野町	岩屋川内	現道拡幅 L=1100m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
51	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (社会資本整備総合交付金)	皿屋三河内線 (中川内)	鹿島市	-	三河内	現道拡幅 L=900m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
52	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	嬉野川棚線 (平野)	嬉野市	嬉野町	不動山	歩道整備 L=1100m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため
53	道路	生活関連	道路整備交付金事業 (防災・安全交付金)	嬉野下宿塩田線	嬉野市	塩田町	五町田	歩道整備 L=300m	-	-	C	Ⅲ	各種調査が不十分であり、地元調整が未了のため